

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月17日

## 【評価実施概要】

事業所番号	272700865		
法人名	特定非営利活動法人アシスト		
事業所名	グループホームせせらぎ荘		
所在地 (電話番号)	〒039-0502 青森県三戸郡南部町下名久井字青柳4番地1 (電話) 0178-76-1070		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 10月 7日	評価確定日	平成 21年 1月 17日

【情報提供票より】(平成20年9月15日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年 2月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤	17人, 非常勤 2人, 常勤換算 12.62人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	2 階建ての 階 ~ 1 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	9,000 円
敷金	有( 0 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 0 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 円
	夕食	300 円	おやつ 実費 円
または1日当たり 900 円			

### (4) 利用者の概要(9月15日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	6 名	要介護2	3 名		
要介護3	5 名	要介護4	1 名		
要介護5	3 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81.7 歳	最低	64 歳	最高	97 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	南部町国民健康保険名川病院
---------	---------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>ホームは県道沿いに立地し、役場や学校に近く、地域との関係を持ちやすい場所にある。利用者が地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えるため、職員、管理者等が意見を交わしながら理念を作り上げ、共通の認識を持ってケアにあたっている。ケアの質の向上に向け、積極的に研修を受講し、また職員間で共通の理解を持てるよう取り組んでいる。</p>
--

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>介護計画においては、家族・入居者の意見をとり入れての計画作成となっている。見直しについても現状に即した計画作成に努めている。災害対策については年2回の避難訓練を実施し、地域住民からの協力を得られる体制を整えている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は職員全員で取り組んでいる。スタッフの共通理解がチームの連携につながり、質の高いサービスが提供されている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>町村と家族と利用者が直接的に意見・要望・会議の話し合い等を行い、会議の内容が質の高いサービス・してもらいたいサービスとして実践されている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>運営推進会議で意見・要望を伺うほか、電話や面会時において困った事や要望を聞いている。家族・利用者の声を汲み取るようにし、寄せられた意見については話し合いを行い、運営に反映させている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ホームの行事や生活などがわかるよう広報を発行するとともに、祭りや地域における行事などにも積極的に参加している。地域のボランティアの協力などがあり、夕涼み会も行われ家族・地域の交流が行われた。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員全員で意見を出し合い、「自立・信頼・笑顔」を理念として掲げ、地域の中で暮らしていくことを支えている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月に一度のユニット会議の中で理念に基づいた対応の仕方について話し合っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地元の祭りや敬老会等の地域活動に参加し、地元の人たちと交流している。地域のボランティアの協力などがあり、夕涼み会も行われ家族・地域の交流も行われている。また中学生の体験学習等を受け入れ認知症の理解につながるよう取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価については、職員全員で実践している。外部評価における改善点については全員で話し合い、できるところから取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>二か月に一回行われ、自己評価・外部評価の結果を運営推進会議の議題として取り上げサービス向上への話し合いが行われている。また、会議の結果についても家族等に報告されている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所だけでは解決できない問題については、各町村福祉課へ相談したり、県の方へ相談したりする機会も多く、ともにサービス向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>活用事例があり、全職員が制度の主要部分については理解している。研修などへ参加し、理解を深め、必要時に活用できる体制になっている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止については研修会への参加、会議等において学ぶ機会を持ち、全スタッフが重要性を十分理解し、ケアに取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に運営規定・重要事項説明書は時間をかけ十分説明して理解してもらった上で署名、捺印いただいている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月、月初めに入居者の活動や健康状態をお手紙形式でお知らせするとともに金銭の出し入れの報告もしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議で意見・要望を伺うほか、電話や面会時において困った事や要望を聞いている。家族・利用者の声を汲み取るようにし、寄せられた意見については話し合いを行い、運営に反映させている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職は極めて少なく馴染みの職員による支援を行っている。ユニット間において定期的に異動を行っているが、十分な引継ぎの期間をとり、利用者へのダメージを防ぐよう配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>協力病院などに依頼して口腔ケアや関節稼動域の講義を受けたり、外部研修には極力参加するようにしたりしている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県や地域の同業者で組織する協議会に入会し情報・意見交換を行ったり、ケア会議に参加し他の事業所の活動等に触れ運営の参考とし、サービスの質の向上に努めている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居者の立場に立ち、本人のペースに合わせてながら、安心感を持っていただけるように努めている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>人生の先輩である入居者を敬いつつ得意とする分野の教えを請いながらコミュニケーションを図り、共に支え合う関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>コミュニケーションを十分にとるなど、日々のかかわりの中で信頼関係を築き、会話や表情から利用者の意向の把握に努めている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>月に1回のユニット会議において入居者の支援について話し合いを行い、本人、家族等からの意見も取り入れて計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>月1回のユニット会議において話し合いが行われ、必要に応じて計画を見直しているが、見直しの際の家族との話し合いが行われていない。</p>		見直し時に家族と話し合いを行うことが望まれる。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者・家族の状況や意向を聞き、受診介助など可能な限り柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医院の他に、本人の希望を取り入れ、以前からのかかりつけ医での受診も行われている。また、看護師がいるため、医療・看護・介護の連携が図られている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>家族とは、入居時及び機会を見つけて重度化した場合の対応などについて話し合いがなされている。</p>		<p>今後、重度化した場合の対応について事業所が取り組むケアを記載した対応指針などを作成することが望まれる。</p>
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者への対応や言動で気になる点についてミーティングなどで話し合ったり、職員間で注意し合ったりしている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者1人1人のやりたいことを把握し、入居者のペースを尊重しながら、柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の希望を聞いてメニューの参考にしたり、季節のものを取り入れたりしている。調理、盛り付けも一緒に行い、きれいに配膳されていた。同じテーブルを囲んで楽しく食事できるようにし、後片付けも一緒に行っている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の時間帯は大体決まっているが、回数や時間帯など、できる限り希望に沿えるよう配慮している。また、今日入りたくない人は翌日にすすめるなど、柔軟に対応している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の生活歴を把握し、残存機能を活かした役割を持ってもらったり、縫い物など趣味活動をしてもらったりして張りのある生活ができるよう支援している。		
28	58	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	個々の希望に沿って出来るだけ外出の支援をするようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については施設内外の研修会への参加等により周知徹底し、全職員が理解し、身体拘束しないケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームが県道に面し、また無断離所による事故があったため、安全を最優先に考え施錠しているが、施錠を解く試みもしている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、年に2回、避難訓練を行っている。地域住民からの協力を得られる体制を整えている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	定期的に体重測定し、個々にあわせた食事の摂取が出来るように管理栄養士のアドバイスを受けながら支援している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルが作成されているほか、研修会に参加したり、ミーティングなどで話し合ったりして理解を深めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花を飾ったり、季節感を感じさせる絵を掲示したりしている。共有空間の小上がりの畳のコーナーにはコタツも設置しており、利用者が居心地良く過ごせるような工夫がなされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居前から使用しているものを持ってきていただいたり、本人が望むものを準備したりして、居心地よく過ごせるように工夫している。</p>		

 は、重点項目。